

抗ウイルス化学療法剤

服薬指導ガイド

バラシクロビル錠500mg「ケミファ」

(バラシクロビル塩酸塩錠)

本剤の使用に際し、「効能又は効果」、「効能又は効果に関連する使用上の注意」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等は添付文書をご参照ください。

腎機能が低下している患者さま、高齢者では、投与量を減じる必要があります。

医師・薬剤師の皆様へ

腎機能が低下している患者さま、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与量の調節が必要です。これらの患者さまに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施してください。

腎機能が低下している患者さま、高齢者には、裏面のクレアチンクリアランス（Ccr）による投与量および投与間隔の目安を参考に投与してください。なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。

脱水状態下では腎障害が起こりやすくなるので、脱水症状を起こしやすい患者さまには、適切に水分を摂取するようご指導ください。

※<クレアチンクリアランス（Ccr）による投与量および投与間隔の目安>につきましては、裏面をご参照ください。

バラシクロビル錠500mg「ケミファ」を 服用される患者さまへ

あなたの腎臓の働きは
弱っていませんか？

以下に該当する場合には、このおくすりを
服用する前に、医師・薬剤師にご相談ください。

- **腎臓**が悪いと言われた事はありませんか？
- **透析**を受けていませんか？
- 最近、尿の量が少なくなったり、むくんだりしていませんか？

裏面も必ずご覧ください。

注意していただきたいこと

このおくすりを服用した後、以下のような症状があらわれたら、**服用を中止し、すぐに医師・薬剤師にご相談ください。**

- めまい
- 頭痛
- 手足のしびれ感
- 一時的にぼーっとして意識が薄れる
- ふらつき
- ふるえ
- 筋肉のぴくつき

脱水状態になると副作用が発現しやすくなりますので、
服用期間中は普段より多めの水分を取ってください。

<クレアチニンクリアランス(Ccr)による投与量および投与間隔の目安>

Ccr (mL/min)	単純疱疹 造血幹細胞移植における 単純ヘルペスウイルス感染症 (単純疱疹)の発症抑制	帯状疱疹 水痘	性器ヘルペスの 再発抑制
≥50	500mgを12時間毎	1000mgを 8時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の 患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、 500mgを12時間毎
30~49	500mgを12時間毎	1000mgを 12時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の 患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、 500mgを12時間毎
10~29	500mgを24時間毎	1000mgを 24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の 患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、 500mgを24時間毎
<10	500mgを24時間毎	500mgを 24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の 患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、 500mgを24時間毎
血液透析 患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、Ccr10mL/min未満の 目安よりさらに減量(250mgを24時間毎等)することを考慮する こと。 また血液透析日には透析後に投与すること。		

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通り投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さまにご説明ください。

なお、血液透析により活性代謝物のアシクロビルを除去することができるので、処置の一つとして血液透析をご考慮ください。